

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

目 次

はじめに	1
沿革	2
寄付件数等一覧	3
本部	4
北陸支部	17
東海支部	21
東京支部	27
岐阜支部	31
中日青葉学園	37
高額寄託者・一般	53
高額寄託者・指定	55

はじめに

社会福祉法人中日新聞社会事業団は本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部と児童福祉施設「中日青葉学園あおば館」、児童心理治療施設「中日青葉学園わかば館」（どちらも愛知県日進市）の運営など幅広い活動を行っている。

28年度は、社会福祉法改正に伴う定款や事業の見直しなど、厳正な社会福祉法人の運営も大きな課題となった。社会福祉事業の見直しとして主催、共催事業と合わせて、昨年度に続き、児童福祉施設やファミリーホームなどが行う事業への支援を柱としたが、障がい者分野、特に視覚障がいや精神障がい分野への事業への支援を手厚くした。

災害支援では、28年度早々に熊本地震が発生し、過去の義援金同様多くの寄託者が訪れ、東海地方などの寄付への関心が強いことを改めて感じた。現地に届けるだけでなく知事やくまモンの訪問もあり、被災地と心を通わせることができたのではないだろうか。

寄付金によって様々な事業を実施していくためにも、用途の明確な事業や支援を展開していくことが必要である。ホームページや紙面を通じた広報にも力を入れ、周知していくことが今後の課題でもある。

日頃より、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、透明性のある法人運営、事業展開を通じ、さらに理解を深めていただき、一層地域に根ざした社会福祉法人を目指していく所存である。

平成29年5月

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和11年12月設立の財団法人名古屋新聞善行会、翌年4月設立の社団法人新愛知社会事業団から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間228件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年7月	財団法人「名古屋新聞善行会」と社団法人「新愛知社会事業団」が合併し、社団法人「中部日本弘徳会」を設立
昭和21年12月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和34年1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年3月	中日青葉学園は日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年5月	中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)を設立
平成12年6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成14年10月	中国障害者芸術団を招聘し名古屋、岐阜、東京、札幌で7公演を行い、延べ13,000人を動員
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に児童心理治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える
平成28年10月	中日青葉学園園舎内外塗装工事

〈主な災害義援金〉

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～29年3月31日	94,172件	9,055,678,346円
☆広島土砂災害義援金	平成26年8月22日～12月26日	802件	30,668,185円
☆熊本地震義援金	平成28年4月15日～6月30日	13,932件	1,091,554,693円

事業件数

	主 催	共 催	後 援	合 計
本 部	5	22	128	155
北 陸 支 部	4	1	2	7
東 海 支 部	8	0	9	17
東 京 支 部	1	2	6	9
岐 阜 支 部	17	5	18	40
合 計	35	30	163	228

寄付金収入一覧

(単位：円)

	本 部		北 陸 支 部		東 海 支 部		東 京 支 部		岐 阜 支 部		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一 般 寄 付 金	385	77,829,305	65	469,814	20	698,210	21	432,971	37	12,156,094	528	91,586,394
年 末 助 け 合 い	251	21,037,325	56	604,094	61	2,423,048	31	650,644	58	2,006,360	457	26,721,471
指 定 寄 付 金	207	17,556,509	14	106,065	10	549,008	13	1,293,341	14	656,056	258	20,160,979
災 害 義 援 金	9,822	853,156,149	184	7,346,547	725	50,028,211	2,335	143,132,098	1,623	75,408,110	14,689	1,129,071,115
合 計	10,665	969,579,288	319	8,526,520	816	53,698,477	2,400	145,509,054	1,732	90,226,620	15,932	1,267,539,959

主な災害義援金と指定寄付金累計

東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成29年3月31日)

	件数	金額
本 部	63,945	7,476,012,004
北 陸 支 部	1,876	81,977,598
東 海 支 部	6,020	492,404,764
東 京 支 部	7,312	203,906,379
岐 阜 支 部	15,019	801,322,455
合 計	94,172	9,055,623,200

東日本復興支援金

(平成26年8月11日～平成29年3月31日)

	件 数	金 額
本 部	353	31,806,988
北 陸 支 部	0	0
東 海 支 部	5	86,149
東 京 支 部	54	4,046,217
岐 阜 支 部	128	3,755,340
合 計	540	39,694,694

※震災翌日からの合計金額

熊本地震義援金

(平成28年4月15日～6月30日)

	件 数	金 額
本 部	9,426	831,556,971
北 陸 支 部	164	6,922,289
東 海 支 部	678	47,052,202
東 京 支 部	2,113	132,849,007
岐 阜 支 部	1,551	73,174,224
合 計	13,932	1,091,554,693

※震災翌日からの合計金額

本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成28年度は155件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援をし、地域に密着した取り組みを行った。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

・第7回愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会

(12月26日・オーシャンアリーナ)

日頃の練習成果を発揮するとともに、フットサルを通じて児童同士の交流を深めることを目的に、開催した。16施設、24チームで約250人が参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会



ボールを追う子ども達

・第59回福祉施設「海の家」(7月21日～29日・篠島海水浴場＝南知多町)

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者支援施設の入所児童を招待する事業を支援した。23施設延べ約700人の児童が参加した。

主催：名古屋市、
名古屋市児童養護連絡協議会



海で遊ぶ子ども達

そのほか、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業(音楽の集い、運動会など)に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

(2) 第13回名古屋市老人福祉施設作品展

(11月9日～13日・名古屋市民ギャラリー矢田)

名古屋市内の老人福祉施設を利用しているお年寄りが趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,000点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い、会期中に延べ約4,500人が観覧した。

共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに交通事故で親を亡くした子ども達を励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約500人。



カヌーを楽しむ交通遺児たち

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌーキャンプ(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児を励ます集い

b. 障がい者

地域社会での障がい者福祉の増進、理解および交流を深めることを目的に、肢体・聴覚・視覚・精神・知的などの障がい者団体が主催する講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. 高齢者

・第5回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム

(2月20日・中日パレスクラウンホール)

「20年・30年後の社会にむけて、普通に暮らせる『みんなの願い』とは」をテーマに、超少子高齢・人口減少社会に対応したまちづくり、ものづくりを目指して、シンポジウムなどを実施した。福祉関係者や関心のある人約300人が参加した。



語り合うシンポジスト

共催：愛知県社会福祉協議会

d. その他

・第8回福祉の星フォーラム (12月1日・国際センター)

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し「私は福祉現場で働き続けます！」をテーマに、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。フリーアナウンサー・町亞聖さんの講演、日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約150人が参加し、交流も深めた。



講演中の講師

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 児童

・第66回児童園遊会 (5月1日・東山動植物園)

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童167人を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈（愛知・岐阜・三重各県）

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜（7月11日・岐阜市民会館）、愛知（11月3日・ウィルあいち）、三重（11月27日・四日市市文化会館）、各県2名、計6名に贈呈した。



三重県の受賞者

b. 障がい者

・第54回特別支援教育展「きらめき展」（2月14日～19日・名古屋市博物館）

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「感じよう つながる喜び」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室などで学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品約3,000点を展示した。



展示会場

共催：名古屋市教育委員会、
同特別支援教育研究協議会

・第21回長良川ふれあいマラソン大会（10月2日・木曽三川公園）



スタート時の参加者

障がい者と健常者が共に参加できるマラソン大会。ふれあいを図り、障がい者福祉についての関心を深めることを目的に実施した。愛知、三重、岐阜の各県を中心に北陸、関西地区などから約1,000人が参加した。

共催：長良川ふれあいマラソン実行委員会
連携：岐阜支部

c. その他

・年末助け合いチャリティー「第33回郷土の美術家100人展」

(12月6日～7日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。多くの美術愛好家にご購入いただき、地域の社会福祉のために役立っている。



作品について語る乃村親子

・助成を希望する公益事業に対する支援

▽第38回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて、6,411人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」（小学生1,000円、中学生2,000円）を贈呈した。（昭和54年から継続）



目録を受け取る大村愛知県知事



同河村名古屋市長

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
愛知県	1,222	1,222,000	684	1,368,000	1,906	2,590,000
岐阜県	295	295,000	189	378,000	484	673,000
三重県	631	631,000	400	800,000	1,031	1,431,000
名古屋市	1,899	1,899,000	1,091	2,182,000	2,990	4,081,000
合計	4,047	4,047,000	2,364	4,728,000	6,411	8,775,000

※年末助け合い運動（11月24日～12月28日）

寄せられた温かい善意は251件、21,037,325円に達し、この資金から支援をした。

▽第60回東海地区特別支援教育振興資金贈呈



特別支援教育研究5団体への贈呈

(8月26日・中日新聞名古屋本社)

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい(LD)児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽第42回難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺(犬山市)と同信徒団体「索(なわ)の会」から寄託された激励金(2,907,966円)を計20の難病者団体に贈呈した。愛知県10団体(10月13日)、岐阜県5団体(10月19日)、三重県5団体(10月27日)。



愛知県の10団体

県	団体名	県	団体名
愛知	NPO法人愛知県難病団体連合会	岐阜	岐阜県へモフィリア友会(岐友会)
	日本ALS協会愛知県支部		岐阜県筋ジストロフィー協会
	愛知県網膜色素変性症協会(JRPS愛知)		岐阜県肝炎の会
	ブラダーウィリー症候群児・者親の会「竹の子の会」西東海支部		岐阜県稀少難病友の会(くぬぎの会)
	全国パーキンソン病友の会愛知県支部		岐阜県網膜色素変性症協会(JRPS岐阜)
	愛知低肺機能グループ	三重	NPO法人三重難病連
	日本リウマチ友の会愛知県支部		全国パーキンソン病友の会三重県支部
	A・T・M LOOK友の会		三重心臓を守る会
	患者支援団体 Fabry NEXT		つばみの会 三重
	愛知繊維筋痛症患者・家族会エスペランサ		稀少難病の会 みえ

(3) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行い、本部に寄せられた義援金は、平成29年3月31日現在で63,945件、7,476,012,004円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて9,049,822,096円を各県に贈った。宮城(16回：4,750,625,000円)、岩手(16回：2,326,875,000円)、福島(15回：1,750,322,096円)、千葉(1回：1億円)、茨城(6回：122,000,000円)。

・熊本地震義援金

平成28年4月に発生した地震災害に対し、本部に寄せられた義援金は9,426件、831,556,971円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額1,091,554,693円を熊本県と大分県の災害対策本部に贈った。



義援金のお礼に訪れた蒲島熊本県知事とくまモン

事業一覧

(本部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~ 29年3/31	ボランティア団体 青葉友の会 活動助成	共催	中日青葉学園	中日青葉学園(日進市)
4/3	平成28年度 東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール定期大会前期岡崎大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館
4/5	道家珍彦個展 (シルクロードをゆくー日本からアフリカまで)	後援	シルクロード研究会	ノリタケの森ギャラリー
4/10	第36回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	瀬戸市民公園体育館
4/16~ 29年3/19	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福)名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/16~5/29	平成28年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/23	2016年愛重連総会記念上映&講演会	後援	愛知県重度障害者団体連絡協議会	豊田市福祉センター 34・35会議室
4/24	第4回チャリティーマラソン in 庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう!	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/26~ 11/20	第13回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	パロマ瑞穂スタジアムほか
4/29	第40回記念'16チャリティー芸能まつり	後援	チャリティー芸能まつり実行委員会	愛知県芸術劇場
5/1	第66回児童園遊会	共催	名古屋市、(福)名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/1	第8回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保カップ 東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
5/3~4	第44回中日本グランドソフトボール大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/8	東日本大震災復興支援チャリティーライブ劇場版Ⅱ	後援	唄い屋集団 心声届	豊田市民文化会館小ホール
5/15	子どもたちの笑顔のために チャリティーコンサートVol.3 森るうなコンサート	後援	Ru-naコンサート実行委員会	田原文化会館文化ホール
5/15	(公財)日本リウマチ友の会愛知支部第53回大会	後援	(公)日本リウマチ友の会愛知支部	ウインクあいち小ホール12
5/22	フォーラム 知ってほしい子どもの高次脳機能障害	後援	NPO法人脳外傷友の会みずほ	今池ガスビル7F B会議室
5/28	第40回チャリティー民謡発表 民謡藤栄会	後援	民謡藤栄会	愛知県芸術劇場大ホール
5/28~29	第16回全国障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール競技北信越東海地区予選大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	敦賀市運動公園体育館 (福井県)
5/29	第31回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、 AJU自立の家後援会	AJU自立の家サマリアハウス ほか
6/2~4	第19回国際福祉健康産業展~ウェルフェア2016~	後援	名古屋市国際見本市委員会ほか	ポートメッセなごや
6/2~10/2	地域レクリエーション教室 (心身障害者療育キャンプ)	後援	(一財)三重県知的障害者育成会	越前そばの里ほか(石川県)
6/4~5	第22回日本電動車椅子サッカー選手権 中部ブロック予選大会	後援	(一社)日本電動車椅子サッカー協会	名古屋市東スポーツセンター
6/7~12/21	平成28年度面接教育相談事業	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/11	第52回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市東山総合公園
6/11~12	東日本大震災復興支援厚生労働大臣杯争奪 第29回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会	後援	日本車椅子ツインバスケットボール連盟	パークアリーナ小牧
6/12	全国膠原病友の会 総会・医療講演会	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市総合社会福祉会館 7階
6/12、 11/27、2/12	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県スポーツ会館
6/28	小牧ワイナリー環境整備助成	後援	(福)AJU自立の家 小牧ワイナリー	小牧ワイナリー

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
7/1~12/2	第30回ふれあいフォトコンクール	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
7/3	第52回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	長野県上高地
7/3	第33回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	扶桑文化会館
7/6	東海地区盲学校第29回 野球(グラウンドソフトボール)大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	愛知県立名古屋盲学校
7/9	子どもセンター「パオ」10周年記念イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市熱田文化小劇場
7/9~10	療育事業(キャンプ)	後援	愛知県知的障害者育成会	光風園くわるび(山梨県)
7/10	名古屋手をつなぐ育成会福祉セミナー in NAGOYA	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋国際会議場 レセプションホール
7/10	愛知県肝友会第35回定時総会及び記念講演会	後援	愛知県肝友会	名古屋市総合社会福祉会館 7階研修室
7/10	ソーシャルワーカーデー2016 in あいち	共催	ソーシャルワーカーデー2016 in あいち実行委員会ほか	中京大学八事キャンパス
7/11	平成28年度岐阜県母子寡婦研修大会	後援	(一財)岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/12~16	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	メニコンANNEXギャラリー Menio
7/18	第34回チャリティー発表会 優利会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
7/21~29	第59回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市児童養護連絡協議会ほか	篠島海水浴場
7/21~8/31	平成28年度高校生ボランティア活動 並びに体験文募集	後援	(福)中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/22~24	第17回陶工房鳴海作陶展 第14回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海	東桜会館
7/23	第9回まいまい狂言会 ～親子で本物・日本文化を楽しもう!～	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/27~28	全日本盲学校教育研究会名古屋大会	後援	全日本盲学校教育研究会、 全国盲学校校長会	愛知県立名古屋盲学校
7/30~31	2016愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA (第56回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	名古屋市東山公園 テニスセンター
7/31	アートセラピーを学ぼう。講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会、日本描画テスト・ 描画療法学会	中京大学名古屋キャンパス
8/2~4	サマーカヌースクール	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡
8/2~18	第25回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、 AICHI高校生交流会	愛知県社会福祉会館ほか
8/6~7	2016全国ジュニア選抜 車椅子バスケットボール大会 in 愛知	後援	東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール連盟ほか	名古屋市名東スポーツセンター 稲永スポーツセンター
8/9	第58回名古屋市立小中学校特別支援学級・ 特別支援学校連合運動会	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本ガイシホール
8/12~14	親子なかよしキャンプ	後援	NPO法人愛知県自閉症協会・つぼみの会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)
8/12~16	第43回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/17~23	第31回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/18~23	第44回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	ホテルボンセジュール (蒲郡市)
8/18	チャリティーコンサートシリーズ アルティスティ舞踊音楽会	後援	よしこの会	熱田文化小劇場
8/21	第34回昭和区の福祉まつり	後援	第34回昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所
8/22	平成28年度愛知県児童福祉施設入所児童 ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とほねグラウンド

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
8/23	第44回東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会三重大会	後援	東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究会ほか	四日市市文化会館 じばさん三重
8/24	平成28年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター
8/28	『ともまなびセミナー』まちを学校に、、、 おもしろ体験小屋	後援	NPO法人なかまの家、(福)ポレポレ	日進市民会館
8/28～ 12/18	平成28年度青少年の自立支援事業 「トライアルキャンプ2016」	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
8/26	平成28年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室
8/28	平成28年度愛盲文芸大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	明生会館(豊橋市)
9/1～ 29年3/3	少年院成人式・卒業式での記念品贈呈。 更正保護施設行事の補助	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院、瀬戸少年院、 豊ヶ岡学園、立正園
9/1～2	南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	グランディア芳泉
9/1～ 29年3/31	愛知県精神保健福祉の増進に関する ネットワークづくり実施事業	後援	NPO法人愛知県精神障害者家族会連合会	ウインクあいちほか
9/3～4	平成28年度愛知県ファミリーホーム協議会 篠島研修交流会	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	南知多篠島
9/4	平成28年度東海北陸ブロック車椅子バスケットボール 後期石川大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	河北台健民体育館(石川県)
9/4	第34回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会ほか	千種スポーツセンター
9/10	愛知障害フォーラム(ADF)地域フォーラム2016	後援	愛知障害フォーラム(ADF)	北区役所講堂
9/10～ 12/10	第64回「手足の不自由な子どもを育てる運動」	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、 事業所、福祉団体
9/11	第26回中部ブロック電動車椅子サッカー定期大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	静岡市中央体育館
9/11	第59回自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	日本大正村、各務原航空宇宙 博物館
9/17～19	第17回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟ほか	道徳後援野球場ほか
9/24	世界網膜の日イン三重	後援	(一社)日本網膜色素変性症協会ほか	鳥羽市民文化会館大ホール
9/25	第40回'16愛のフェスティバル	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉 会館・ひろば
9/25	第28回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者スポーツセン ター体育館
9/26	平成28年度作品展“てをつなぐ”	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ニコニコ
10/1	第27回名古屋市精神障害者家族交流事業 「晴れときどき虹」	後援	NPO法人名古屋市精神障害者家族連合会	中区役所ホール
10/1～11	第68回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	(福)愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センタービル 1階
10/2	第21回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会 ほか	木曾三川公園特設会場
10/2	第11回JRPS網脈絡膜変性フォーラム	後援	(一社)日本網膜色素変性症協会	伊勢市観光文化会館
10/2	第6回ジョギングフェスティバル	後援	(公財)スペシャルオリンピックス日本・ 愛知	瑞穂公園田辺陸上競技場ほか
10/4	第9回ふれあいアート展	後援	(一社)愛知県知的障害者生活サポート 協会	名古屋電気文化会館 東ギャラリー
10/5	東海レディス・プラザ第44回チャリティーバザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE 6階 クリエイトホール
10/8	第63回児童福祉施設運動会	後援	名古屋市、名古屋市児童養護連絡協議会 ほか	パロマ瑞穂スポーツパーク
10/8	生き生き長寿フェア2016「はつらつ健康プラザ」	後援	愛知県、(福)愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
10/10	愛知県難病団体連合会第44回定期大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウインクあいち小ホール
10/12～ 11/26	第72回ボランティアスクール	共催	(福)あさみどりの会	さわらび園
10/13、 19、27	平成28年度成田山難病患者激励金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
10/22	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会実行委 員会ほか	名古屋市中区役所ホール
10/25	共同募金運動70周年記念・ 第64回愛知県社会福祉大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	愛知県体育館
10/27	第3回名古屋福祉支援チャリティーゴルフ	後援	名古屋福祉支援チャリティーゴルフ	東名古屋カントリークラブ (豊田市)
10/29	名古屋城パティウォーク	後援	名古屋スマイルマイル	名古屋城
10/30	第15回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
11/3	平成28年度愛知県母子寡婦福祉大会	後援	(福)愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいちウィルホール
11/3	13thAJUワインフェスタin多治見修道院	共催	(福)AJU自立の家ほか	神言会多治見修道院
11/5	子どもたちの笑顔のためにチャリティーコンサート Vol.4 森るうなコンサート	後援	田原文化会館文化ホール	Ru-naコンサート実行委員会
11/6	けやきウォーク「のろスタ」	後援	(福)けやき福祉会	春日井市少年自然の家多目的 広場ほか
11/6	第15回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
11/6	第61回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市中区役所ホール
11/9～13	第13回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/12	第54回愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	名古屋市公会堂
11/13	第14回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	共催	(一財)岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場
11/15	第49回愛知県視覚障害者福祉大会(豊川大会)	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	豊川市小坂井文化会館
11/19	「家庭養護、行政協働型社会的養護の展望について」 講演会	後援	虹の架け橋～養育者を支援する里親・ 家庭養護の会～	名古屋短期大学 5号館514教室
11/20	第38回音楽の集い「尾張旭大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会、(福)愛知県社 会福祉協議会	尾張旭市文化会館
11/20	第62回東海車椅子ツインバスケットボール 定期大会磐田大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	磐田市アミューズ豊田
11/22～ 29年1/13	平成28年度赤十字健康教室	後援	日本赤十字社愛知県支部 名古屋第二赤十字病院	名古屋第二赤十字病院 研修ホール
11/24～ 12/28	平成28年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
11/27	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋講演会「実は身近な発達障害」	後援	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋ほか	鯉城ホール
11/26～27	第56回東海車いすテニス大会 in 鈴鹿	後援	三重県車いすテニス協会	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
11/27	第13回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
11/27	平成28年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財)三重県母子寡婦福祉連合会	四日市市文化会館
12/1	平成28年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	名古屋国際センター別棟ホール
12/3	スマイルピースコンサート	後援	スマイルピースコンサート実行委員会	ザコンサートホール 名古屋・ 伏見・電気文化会館
12/3	第34回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児 (者)福祉団体連絡協議会ほか	愛知県社会福祉会館 第一研修室

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
12/6~7	中日新聞年末助け合いチャリティー 第33回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/7	第21回中部善意銀行年末たすけあい チャリティーバザー	後援	(福)中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館10階 クローバーサロン
12/9	第14回尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/9	第16回全国障害者芸術・文化際あいち大会	後援	厚生労働省、愛知県、名古屋市	愛知芸術・文化センターほか
12/14	手話普及啓発実施事業	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	あいち聴覚障害者センターほか
12/17	日本福祉大学・名古屋市教育委員会市民大学 公開講演会	共催	名古屋市教育委員会、日本福祉大学ほか	イーブルなごやホール
12/18	地球組コンサート2016“Smile～笑って”	後援	少年少女合唱団 地球組	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
12/18	第56回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社)愛知県身体障害者福祉団体連合会 稲沢市身体障害者福祉協会	名古屋文理大学文化フォーラム
12/23	2016中日青葉学園招待スケート教室	共催	名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/23	平成28年度社会貢献活動推進セミナー	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	ナディアパークデザインホール
12/23	名古屋少年少女合唱団が贈る チャリティークリスマスコンサート(2016)	後援	名古屋少年少女合唱団	三井住友海上しらかわホール
12/23	第50回交通遺児を励ます大会(記念大会)	後援	(公社)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/24	ISOGAI花火劇場 in NAGOYA ～次世代を担う子供たちに美しい花火を贈る～	後援	名古屋港冬花火実行委員会	名古屋港ガーデン埠頭
12/25	日本特殊陶業(株)がお贈りする ファミリーミュージカル	後援	日本特殊陶業(株)	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
12/26	平成28年度第7回愛知県児童福祉施設入所児童 フットサル大会	共催	愛知県児童福祉施設長会	オーシャンアリーナ
29年1/7	ピアサポートきらりの集いin名古屋	後援	きらりの集いin名古屋実行委員会	名古屋国際センターほか
1/14~15	平成28年度第14回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート(長野県)
1/19~24	第40回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	丸栄8階大催事場
1/22	あした天気にな～れ	後援	愛知県精神保健福祉士協会	刈谷市産業振興センター
2/5	平成28年度第30回愛知県児童福祉施設 親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場 および周辺道路
2/7	第51回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、(福)名古屋市身体障害者福祉 連合会	名古屋市博物館
2/14~19	第54回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
2/20	第5回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム	共催	(福)愛知県社会福祉協議会	中日パレスクラウンホール
2/21~3/16	第37回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(一財)愛知県セルフセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前 ほか
2/26	第32回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツセンター
2/26	RDD(Rare Disease Day)2017 in あいち	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	金山総合駅連絡通路内
2/25	平成28年度陶芸教室	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	中日新聞社北館ホール
3/4	愛知障害フォーラム(ADF)地域フォーラム	後援	愛知障害フォーラム(ADF)	名古屋市高齢者 就業支援センター大会議室
3/5	第35回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会 (福)愛知県社会福祉協議会	碧南市文化会館
3/7	知的な障害のある人の作品展 第5回「アートi」展	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市民ギャラリー矢田

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
3/11~12	内閣総理大臣杯争奪第45回日本車椅子バスケットボール選手権大会東海北陸地区予選愛知大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	名古屋市稲永スポーツセンター
3/12	第23回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP2017	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/19	第46回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/20	日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンター
3/20	青葉学園卒業祝い	主催	中日青葉学園、(福)中日新聞社会事業団	中日青葉学園(日進市)
3/24	第35回愛知動作療法療育キャンプ	後援	第35回愛知動作療法療育キャンプ実行委員会ほか	蒲郡ホテル別館

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社と緊密な連携をとりながら北陸三県内の関係機関、団体などの協力を得て平成28年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・大井中日就学（職）支援（3月10日～31日・石川県内児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として28年度も実施した。

県内にある児童養護施設7施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち23人に新生活の準備に役立ててもらおう。

※「大井中日奨学福祉財団」（事務局：七尾市社会福祉協議会）は昭和60（1985）年に七尾市和倉温泉で旅館経営をしていた大井安次夫妻（当初は社会事業団への寄託）、1988年には息子の大井昭平夫妻から地域の児童福祉にと寄託された寄付金を基に、長年七尾市の中高生の就学を支援してきたが、その後の社会環境などの影響により事業運営が困難になり解散した。経過としては平成24（2012）年の理事会で解散決議。13年残余財産処分許可、中日新聞社会事業団北陸支部に引き渡した。

(2) その他

a. 招待事業

・「大トリックアート展3」招待（8月3日～21日・めいてつ・エムザ）

石川県内の児童養護施設7施設に入所している児童241名を招待。

b. 助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・石川県内）

中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、56件、604,094円の募金が集まり、石川県内の障がい者支援施設6施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

・あすなる親の会（ひきこもりを考える会）例会（月1回・石川県内各所）

ひきこもりの子どもを持つ親たちが、月1回石川県内の会場にて意見交換会や、ひきこもりへの理解を深めるため講師を招いて講演会を開いた。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

・「第37回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

(11月23日・金沢市西部市民体育館プール)

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、今年も表彰メダルや参加賞を贈った。

b. その他

・平成28年度 中日ボランティア賞

(表彰式：12月17日・ANAクラウンプラザホテル金沢)

石川、富山、福井各県で地道な社会活動や、子どもたちの隠れた善行、他の模範となるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」（成人対象）と「中日あおば賞」（青少年対象）を統合し、今回で9回目。

北陸三県の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから43件の推薦があり、社内外の選考会で34件(石川14件、福井10件、富山10件)が選ばれた。受賞者に賞額、記念品を贈った。



後援：石川県、
富山県、福井県、
三県教育委員会、
三県社会福祉協議会、
金沢市教育委員会

(3) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における義援金が、6年を過ぎても多く寄せられた。

・たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き受け付けた。

・熊本地震義援金

平成28年4月に発生した地震災害に対し、支部に寄せられた義援金は164件、6,922,289円となった。

(4) その他

・東日本大震災・熊本地震チャリティーストリートライブ

永村幸治with Sound splash vol.8 (6月19日・香林坊アトリオ広場)

津軽三味線奏者の永村幸治さんが中心となって東日本大震災・熊本地震の復興支援を目的としたライブを行い、寄付を募った。集まった寄付金は義援金として、支部を通し被災地へ贈られた。

事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
6/19	東日本大震災・熊本地震 チャリティーストリートライブVol.8	後援	永村幸治 with Sound Splash	香林坊アトリオ広場
8/3~8/21	「大トリックアート展3」招待	主催	北陸中日新聞社会事業団	めいてつ・エムザ
11/23	第37回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/24~ 12/28	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
12/17	平成28年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル金沢
29年3/10	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
毎月	あすなろ親の会(ひきこもりを考える会)例会	共催	あすなろ親の会	石川県

東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成28年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

- ・第45回静岡県児童福祉施設夏季球技大会（8月23日・湖西市みなと運動公園）

静岡県内の児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈り大会運営に協力した。

主催：静岡県児童養護施設協議会

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・第39回静岡県ボランティア研究集会

(29年2月12日・静岡県立大学大講堂ほか)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくりを強化することを目的とした集会。集会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会、公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

- ・第30回静岡オレンジマラソン大会

(11月9日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、毎年行われている知的障がい者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、NPO法人 静岡県作業所連合会・わ

・第17回東海地区盲学校フロアバレーボール大会

(11月9日・静岡県草薙総合運動場体育館)

愛知・静岡・岐阜・三重各県の盲学校・視覚特別支援学校の生徒による2年に1度のフロアバレーボール大会。技術や体力向上をめざし、また生徒同士の交流と親睦を図る目的で開催。大会を後援し、参加賞のタオルを贈った。

主催：東海地区盲学校体育連盟

b. その他

・第33回中日ボランティア賞（贈呈式=10月26日・ホテルコンコルド浜松）

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を顕彰する主催事業。

静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より43件の推薦があった。受賞7団体（静岡県西部3団体、中部3団体、東部1団体）を選考委員会で決定。10月26日、ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状・奨励金（1団体150,000円）を贈った。



第33回中日ボランティア賞贈呈式

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は61件、総額で2,423,048円となった。

・年末助け合い

第35回ふるさと知名人チャリティー色紙展

(11月30日～12月2日・遠鉄百貨店8階スペース8)

静岡県にゆかりのある知名人（画家・書道家・版画家など）から、チャリティーで作品提供を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購入、その収益金を寄付する主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店8階

スペース 8 で開催。経費を除いた収益金（390,000円）の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月15日に静岡県社会福祉協議会に贈った。



市民らでにぎわう第35回ふるさと知名人チャリティー色紙展

・生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈（12月7日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の中学生225人（浜松市197人、湖西市2人、磐田市12人、袋井市8人、掛川市6人）に、激励として図書カード1人5,000円分を贈った。



・生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

（29年2月16日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童56人（浜松市48人、磐田市4人、袋井市2人、掛川市2人）に図書カード1人3,000円分を贈った。

生活保護家庭の小・中学生や保護者から寄せられた礼状の一部

・社会福祉事業資金造成 第33回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

（29年3月15日・豊岡国際カントリークラブ）

豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、70,000円の社会福祉事業資金が集まった。

- ・ 浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈（29年3月7日・浜松市内）
平成28年度に中学校を卒業する浜松市内の交通遺児2人に、卒業祝いと激励の意を込めて電子辞書を贈呈した。浜松市子ども家庭部から情報提供を受け、直接郵送。前回までは広辞苑を贈呈していたが、高校では電子辞書が必須、などの事情から本年度からは電子辞書を贈ることとなった。

- ・ 交通遺児義援金の贈呈（29年3月27日・浜松市）
浜松市および近郊在住の方々から寄せられた交通遺児義援金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ届けた。今年度は310,216円。

- ・ 寿会ゴルフ大会（毎月1回・豊岡国際カントリークラブ）
高齢のゴルフ愛好者で構成される寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。
主催：豊岡国際カントリークラブ

- ・ 第24、25回スズキビジネスチャリティゴルフ大会
（7月6日、12月7日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）
地元企業が主催するチャリティゴルフ大会。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募る目的で開催しており、本大会を後援した。
主催：株式会社スズキビジネスチャリティゴルフ大会実行委員会

- ・ 2016浜松市民チャリティゴルフ大会 in いなさGC
（10月5日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）
浜松市ゴルフ連盟が主催し、参加費の一部を浜松市津波対策事業に寄付するチャリティゴルフ大会。本大会を後援した。
主催：浜松市ゴルフ連盟

- ・ 静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成（5月・静岡県）
昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会ではその後毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。
主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

(3) 災害援護に関する事業

・災害義援金

4月14日に発生した熊本地震には6月30日までに678件、47,052,202円の義援金が東海支部に寄せられ、本部を通じて被災地へ届けられた。

また、平成23年3月11日の地震発生後6年目となった東日本大震災義援金へも47件、2,976,009円の寄付があり、発生から28年度末までに東海支部に寄せられた義援金は計4億9200万円を超えた。

事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4月～ 29年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	NPO法人静岡県ボランティア協会	静岡県
7/6	第24回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
8/23	第45回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会	湖西市みなと運動公園
10/5	2016浜松市民チャリティゴルフ大会 in いなさGC	後援	浜松市ゴルフ連盟	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
10/26	第33回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松 (浜松市)
11/9	第30回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場(静岡市)
11/9	第17回東海地区盲学校フロアバレーボール大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	静岡県草薙総合運動場 体育館(静岡市)
11/24～ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか
11/30～ 12/2	第35回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店8階スペース8 (浜松市)
12/7	第25回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/7	静岡県西部地区 生活保護家庭中学生に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
29年2/16	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/12	第39回静岡県ボランティア研究集会	後援	NPO法人静岡県ボランティア協会 (公財)静岡県労働者福祉基金協会	静岡県立大学大講堂ほか (静岡市)
3/15	社会福祉事業資金造成 第33回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
3/7	浜松市在住交通遺児中学卒業生に電子辞書贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市
3/27	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所

東京支部

本部および中日新聞東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

◇社会福祉事業

- ・年末助け合い運動募金で寄せられた寄付のうち、一部を神奈川県相模原市の(福)中心会相模原南児童ホームと、栃木県佐野市の(福)マロニエ「夢」に贈った。

◇公益事業

(1) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者福祉事業

- ・第20回全日本IDバレーボール選手権大会

(8月20、21日・浦安市運動公園総合体育館)

全日本IDバレーボール大会が開催され、東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。副賞(参加チームから各1名にベストプレイヤー賞)を贈呈した。



副賞を受け取る選手

b. その他

- ・東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

埼玉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計75万円を助成した。

活動地区	団体名・活動名称	代表者名	主な活動場所
埼玉県新座市	震災支援 ネットワーク新座	谷森 櫻子	新座市内
埼玉県越谷市	越谷避難者の会	石上 清	コーププラザ越谷 ほか
埼玉県所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館
埼玉県春日部市	春日部つながりカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	コーププラザ春日部
埼玉県加須市	双葉町民による ボランティアカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	いきいきサポートセンター (双葉町 社会福祉協議会 加須事務所内)



春日部つながりカフェ

◀助成団体のうち、今回写真を掲載した春日部つながりカフェは月に1回開催。避難者、支援者、自治体職員が自治体からのお知らせを報告、生活上の相談や健康相談を受けたり、食事やお菓子をお互いに持ち寄ってお互いの近況を話し合う貴重な場となっている。

・レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月晶子代表）に本年も48万円を助成した。助成は5年目。

・年末助け合い運動

11月24日から12月28日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に31件、650,644円の善意が寄せられ、継続助成4団体と社会福祉事業として2団体に贈呈した。初の試みとして期間中に助成団体で寄付がどのように使われているかを、社会事業団で取材して紙面化したところ、反響は大きく新規の寄付者を得た。今後も紙面掲載を継続して行いたい。

【継続助成団体】あしなが育英会、交通遺児育英会、東京都社会福祉協議会・東京善意銀行、日本点字図書館

(2) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金を募るため、翌12日より東京本社と協力して実施。昨年度に引き続き、郵便振替、東京本社や支局、ショッパー社、中日新聞社友会東京支部の総会での募金など善意が多数寄せられ、今も途切れることなく続いている。

今年度東京支部へ寄せられた義援金は248件、8,738,943円。また東京支部の所轄であり、大きく報道されていないが津波・ライフライン被害が大きく現在も義援金を受け付けている茨城県へ900万円を本部を通じて贈った。茨城県への贈呈額は総額122,000,000円。

・たまきはる福島基金

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は25件、617,000円。

・東日本復興支援事業

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島3県の行政ではできない復興支援活動の為、途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた支援金は5件、75,000円。

・熊本地震義援金

平成28年4月に発生した熊本地震の被災者支援のため義援金を受け付けた。東京支部へ寄せられた義援金は2,113件、132,849,007円。

事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	NPO法人「レイブクライシスセンターTSUBOMI」 助成の件	共催	NPO法人「レイブクライシスセンターTSUBOMI」、 中日新聞社会事業団東京支部	東京都内(東京都千代田区)
4/1~3/31	平成28年度震災・原発事故避難者支援事業 助成金の件	共催	震災支援ネットワーク埼玉、歩みの会、 震災支援ネットワーク新座、中日新聞社 社会事業団東京支部	埼玉県内各地
4/1~3/31	第19回「がんばれ先生！東京新聞教育賞」	後援	中日新聞社東京本社	東京新聞紙上
7/20~8/31	赤銀杏会 夏休みボランティア体験	後援	赤銀杏会	上野公園
8/20~8/21	第20回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟	浦安市運動公園総合体育館
10/7~10/9	第43回国際福祉機器展	後援	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト東展示ホール
10/10	2016グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞社東京本社	駒沢競技場
12/18	第14回本間一夫記念日本点字図書館 チャリティコンサート	後援	(福)日本点字図書館	府中の森芸術劇場
29年3/1	年末助け合い運動募金の配分	主催	中日新聞社会事業団東京支部	中日新聞社会事業団東京支部

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

- ・社会福祉施設花いっぱい運動（5月28日・県内50社会福祉団体）

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って、県内の各社会福祉施設に苗・種子・球根を贈り、運動の成果を冊子にまとめ関係者に配布し、施設の内容や頑張りを紹介した。



贈呈式：大洞岐協苑

協力：岐阜県遊技業協同組合

岐阜県中日新聞販売店会・岐阜県内社会福祉事業協力会

◇公益事業

(1) 保健医療相談事業

- ・心の病家族相談センター

（毎週火、木曜日・特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会事務所）

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に相談窓口「心の病」を開設し、精神疾患者や、家族の支援をした。

共催：特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会

- ・薬物依存症医療相談の実施。

（毎月第2水曜日・特定非営利活動法人岐阜ダルク事務所）

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として、薬物依存症患者に対しての電話相談を実施

共催：特定非営利活動法人岐阜ダルク

・介護者のつどいの実施

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内9ヶ所で年間107回開催。昨年度より30回ほど開催が増え、もっと身近に、身軽に相談できる「認知カフェ」も各地にできてきている。

共催：公益社団法人認知症の人と家族の会岐阜県支部

(2) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 研 修 会

・精神障がい者家族間支援者養成研修会（12月2日・福祉農業会館）他

b. 講 演 会

・岐腎協大会講演会（8月21日・ふれあい会館）他

c. 講 座

・人権学習講座（7月1日・メディアコスモス）他

(3) 社会福祉の向上を目的とする事業

a. 各種スポーツ大会や文化的事業（障がい者）

・第14回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

（11月13日・岐阜市、メモリアルセンター長良川競技場）

障がいのある人も手軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が交流と親睦を深めるとともに、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的に開催。

中日新聞社ヘリによる祝賀飛行と花束の投下もあった。

共催：岐阜県身体障害者スポーツ協会

連携：本部



熱戦を繰り広げた、グラウンド・ゴルフ大会

・岐阜県知的障害特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

（10月2日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場）

岐阜県内の特別支援学校の児童・生徒に、広く陸上競技の進行を通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに、相互の親睦を深め、社会性を育てることを目的に開催。

後援：岐阜県特別支援学校体育連盟

・CPサッカー全日本選手権（10月29、30日・長良川メドウ）

CPサッカーの認知度を高め、組織強化に繋げ、肢体不自由者のスポーツ参加の機会を促進する目的で、脳性麻痺のサッカー全国大会を開催。

後援：日本脳性麻痺7人制サッカー協会

・全日本パラカヌー長距離選手権大会(11月5、6日・木曾三川公園管理センター)

カヌースポーツの普及発達ならびに会員相互の親睦をはかることを目的として、健常者と共に大会を開催した。

後援：日本カヌー連盟・全日本学生カヌー連盟

・第25回手話スピーチコンテスト(11月26日・中部学院大学各務原キャンパス)

聴者と聴覚障がい者の共生ができる社会をめざし、手話の普及と聴覚障害者福祉の推進を目的に、手話によるスピーチコンテストを開催。

共催：中部学院大学、(社)岐阜県聴覚障害者協会

b. 子育て支援事業

・岐阜市母子寡婦福祉大会（9月5日・メディアコスモス）

・岐阜県母子・父子家庭運動会（11月6日・岐阜市西部体育館）

・岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーリゾート旅行へ招待

（8月19日～21日・東京ディズニーリゾート）

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に夏休みの思い出作りを目的に、バス2台を用意し、東京ディズニーリゾート旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協力会の資金協力を受け、6月に中日新聞の紙面や岐阜市の広報を通じ募集し、2泊(車中)3日で実施。



園内パレードを楽しむ

共催：岐阜市母子寡婦福祉連合会

c. その他

- ・社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月10日・中日新聞岐阜支社）

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体19団体に対し195万円を、今年度の事業共催金・助成金として贈呈した。

- ・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・岐阜支社管内）

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。

- ・郷土の美術家ぎふ展（12月3日～7日・岐阜高島屋シネックスホール）



安藤工作、志埜ぐい呑

東海3県内で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作150余点を販売、当日は開場前から100人ほどが並び、好評を得た。

また、昨年試験に実施した閉会後のネット販売を3月末まで本格的に実施。特に美濃焼の陶芸作品に全国各地から購入者の幅が広がった。

- ・岐阜ダルクチャリティーコンサート（9月26日・カトリック多治見教会）

薬物依存症自立支援団体、岐阜ダルクの活動に対し、協賛した音楽活動家によるチャリティーコンサートを支援。

後援：岐阜ダルク

- ・各種作品展

アートステーションぎふ・特別支援学校作業作品展など支援。

（4）災害援護に関する事業

- ・自然災害発生の援護活動

東日本大震災・熊本地震災害などの自然災害発生に際し義援金の受付などを実施した。また、中日新聞の紙面を通じ広く読者に支援を呼びかけた。

（5）その他

- ・招待事業

長良川球場で行われたプロ野球や、大相撲名古屋場所、各種美術展・イベントの招待券を福祉関係者に贈呈した。

事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/2他	「心の病」家族相談センター開設(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉連合会 (岐阜市)
4/8他	介護者のつどい(107回開催)	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜中日ビルほか(岐阜市)
4/10他	薬物依存症医療相談(11回開催)	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜ダルク(岐阜市)
4/14~5/31	熊本地震災害義援金受付	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
4/22	チャリティーライブ(10回開催)	後援	岐阜県歌謡研究会	スタジオ105(岐阜市)
5/28	岐阜県社会福祉施設「花いっぱい運動」贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内50施設
6/14	プロ野球公式戦招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	長良川球場(岐阜市)
7/1	人権学習講座	後援	NPO法人ぎふ要約筆記 かがり火	メディアコスモス(岐阜市)
7/10	大相撲名古屋場所に福祉施設関係者を招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	愛知県体育館(名古屋市)
8/7	市民チャリティーカラオケ大会	後援	可見カラオケ名人・ご当地アイドル選出 実行委員会	可見市文化創造センター (可見市)
8/10	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社(岐阜市)
8/19~21	東京ディズニーリゾートバス旅行	共催	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーランド
8/21	岐腎協大会	後援	岐阜県腎臓病協議会	ふれあい会館(岐阜市)
8/22~9/5	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
8/28	聴覚障害者就労学習会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	広見公民館(可見市)
9/5	岐阜市母子寡婦福祉大会	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	メディアコスモス(岐阜市)
9/25	人工内耳相談会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	美濃加茂市生涯学習センター (美濃加茂市)
9/25	第37回岐阜県視覚障害者文化祭	後援	岐阜県視覚障害者協会	メディアコスモス(岐阜市)
9/25	第50回身体障害者飛騨ブロック体育大会	後援	飛騨市身体障害者協会	萩原小学校(下呂市)
9/26	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	カトリック多治見教会 (多治見市)
10/2	長良川ふれあいマラソン	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曾三川公園特設会場 (海津市)
10/2	岐阜県知的障害特別支援学校 チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	メモリアルセンター(岐阜市)
10/14~15	ろう劇団いぶき公演	後援	ろう劇団いぶき	御浪町ホール(岐阜市)
10/17~31	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
10/29~30	CPサッカー全日本選手権	後援	日本脳性麻痺7人制サッカー協会	長良川メドウ(岐阜市)
11/5~6	全日本パラカヌー長距離選手権	後援	日本障がい者カヌー連盟	木曾三川公園管理センター (海津市)
11/6	岐阜県母子・父子家庭運動会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市西部体育館(岐阜市)
11/6	第50回岐阜県中濃ブロック身体障害者体育大会	後援	岐阜県中濃ブロック 身体障害者協会	美濃市立東中学校(美濃市)
11/8	岐阜県精神保健福祉会研修会	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	ぎふ清流文化プラザ (岐阜市)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
11/13	第14回全国身障者グラウンド・ゴルフ大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	メモリアルセンター (岐阜市)
11/17	ドームやきものワールド招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	ナゴヤドーム(名古屋市)
11/24~ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
11/26	第25回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、 (社)岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)
12/2	精神障がい者家族間支援者養成研修	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	福祉農業会館(岐阜市)
12/3~7	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	シネックスホール(岐阜市)
12/5	シルクドソレイユチケット贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	名古屋市
12/9~3/31	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	ネット販売
12/21	生活保護家庭の新学期児に図書券進呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
12/21	愛のともしび基金寄付	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
29年 1/30~2/13	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
2/6	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内60施設、協力団体
2/15~28	岐阜県加茂特別支援学校高等部作業製品展	後援	岐阜県加茂特別支援学校	中日茶房(岐阜市)
3/26	認知症のひとと家族の会講演会	後援	認知症のひとと家族の会 岐阜県支部	中央公民館(笠松町)

中日青葉学園

社会福祉法人中日新聞社会事業団中日青葉学園は、昭和35年4月、虚弱児施設として開設、児童福祉法改正に伴い、平成10年4月、児童養護施設に種別変更、平成15年10月、児童養護施設「あおば館」（定員70人）に新たに児童心理治療施設「わかば館」（定員35人）を加えた複合型児童福祉施設となった。園舎は平成15年、複合型施設に変わった際、全面改築し、あおば館は70人が男女別で集団生活する大舎制から、男女別で15人から18人が4つのグループで生活する中舎制に転換した。「社会的養護」は、児童を大きな集団で育てる「施設養護」から小さなグループで育てる「家庭的養護」へ変わり、あおば館は平成41年までに生活形態を全て小規模化する家庭的養護推進計画を立てた。第1弾として25年10月、中舎1ホームを小規模2ホームに改造。28年度は10月、中舎1ホームを小規模ホームにし、中舎2ホーム、小規模3ホーム、児童定員を62人とした。この後、計画に従い小規模化を進めていく。

改築後13年経過、園舎内外装に傷みが目立ち、夏から秋にかけ、屋上防水、外壁塗装、各部屋改修の大規模修繕を行った。併せて、別々だったあおば館、わかば館の職員室を一体化、両館職員の交流連携を深めることとした。

開設当初から、敷地内に日進市立日進中学校・北小学校の青葉分校として学習棟を設け、生活と教育を一体化した児童支援に当たっている。青葉分校も平成18年5月に建て替えた。

（1）安全安心

児童福祉施設は、虐待など不適切な関わりを受けた子どもたちを預かる場として、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きくなるように努めるため、「安全安心委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り対応に当たっている。「子どもがいじめられている」との保護者の話から複数の小学生女子の間で性化行動が発覚、加害児を分離、心理的治療・指導するとともに被害児のケアに当たった。月1回の避難・消火指導を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、自転車の正しい乗り方などを伝えている。神奈川県施設襲撃事件を受け、刺股、催涙スプレーを購入、愛知署員を講師に「不審者対応教室」を開くとともに正面進入路にフェンス・正面玄関前に門扉2か所を設けた。正面進入路の坂に自転車がゆっくり下るように「減速帯」を5か所取り付けた。業者が遊具点検、排水溝整備などをした。

7月から11月にかけての大規模修繕では、工事のために建物周囲に足場を組

み、ネットで囲んだ。足場から簡単に屋上に行くことができ、職員、児童を対象に工務店職員の指導で安全教室を開き、危険防止を徹底した。

(2) 権利擁護

被措置児童虐待防止が児童福祉法に盛り込まれたのを受け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。5月、あおば館職員が故意に子どもを転ばせた。関係者を懲戒処分、県・児童相談センターに報告、再発防止に努める。11月の全職員意識レポートなどを通じ、権利擁護への取り組みを再確認した。児童全員が集まる毎月の全体会で①要望や苦情を口頭でも書面でもいつでも伝えてほしい②苦情を言っても不利益にならないと話している。

(3) 合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4月(今年度の取り組み)5月(ホーム方針)6月(大規模修繕)7月(食中毒・熱中症対策、事業計画・事業報告)9月(被措置児童虐待)10月(法令順守、オゾン水生成器使い方)11月(保育・社会福祉・心理・介護実習)12月(ノロウイルス・インフルエンザ対策、被措置児童虐待)1月(29年学園目標)2月(県外研修報告、家庭的養護推進計画見直し、自立支援貸付制度)3月(ラングループ退園生支援、安全委員会研修・性の問題を考える会報告)。

6月、2班に別れ、関西の児童養護・児童心理治療複合施設「水上隣保館・ひびき」「つばさ園・ももの木学園」を見学した。

アスペ・エルデの会事務局長宮地菜穂子さんを講師に迎えた「スタッフトレーニング」2年目として「スタッフトレーニング Advance」を開き、発達障害の理解、自立支援計画の策定方法など知識とスキルを学んだ。

11月、両館調理、あおば館小規模職員が豊橋若草育成園の調理部門・小規模ケア、光輝寮を見学。1月、前児童相談センター幹部で県立大学特任教授を講師に招き、児童相談センターの虐待保護者指導プログラムと被措置児童虐待防止について勉強した。

(4) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、ボランティア組織「青葉友の会」が次のような活動を続けている。

▽「竹の子会」毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕▽「園十会」月2回、葉牡丹、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い(児童インフルエンザ発症時は休止)▽「クローバー」月4回、大学生が幼児と小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」社会人が青葉まつりなど

各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月2日、クリスマスリース教室、3月19日、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月18日、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動。3月27日、お楽しみデーとして、らあめん・いちご動物園・パイプロイド(紙細工)訪問があった。

(5) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 岐阜県郡上市(小学生)▽B班 若狭海水浴(中・高生)▽C班 郡上市(幼児)▽D班 長野県やぶはら(小～高校生)▽E班 東三河(わかば)一の5グループに分かれ、川遊び、バーベキューなど。若狭2日目は雨天のため福井市観光・プールに変更。両館合同の活動では、子どもたちが行事を通して交流した。

第20回青葉まつりは10月29日、退園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、全日本アミューズメント施設営業者協会連合会協力の無料ゲームや子どもたちが運営するたこ焼きなど模擬店を楽しんだ。舞台では、あおば、わかば両館の児童、職員が10台の和太鼓で共演した。クリスマス会は12月22日、愛知中央ライオンズクラブ、もちつき大会は12月30日、ボランティアの協力を得て行った。

(6) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」を3月20日、開いた。ことしの対象者は、高校卒業し大学・専門学校へ進学するあおば館男子2人・女子1人、就職するあおば館男子3人。中学を卒業、家から進学するあおば館女子1人、わかば館男子1人・女子2人。6人が思い出の写真を見ながら学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちを伝えた。日本フラワーデザイナー協会愛知県支部の協力で季節の花に囲まれて華やかだった。

(7) 問題行動・事故

この1年間に、運動中事故3件(軽傷2人)、ガラス等破損7件(軽傷1人)、小中学生の性化行動4件、自転車事故3件(軽傷2人)、児童間トラブル1件、児童の職員への暴力1件、自傷行為2件、侵入盗1件、無断外出4件、問題行動7件があった。事案ごとに安全安心委員会として「聞き取り、背景分析、当事者への指導、関係者への報告・謝罪、再発防止検討」をした。

性的問題2件について、あおば館加害児童2人をわかば館へ一定期間、措置変更、治療終了後、あおば館へ戻した。

(8) 苦情・意見

「屋内で両館の子どもと一緒に遊べるようにしてほしい」との意見を受け、あおば館児童玄関の一角に交流スペースを設けた。「ゲーム等のルールが厳しすぎる。職員が嫌だ。退職させて」「児童間のトラブル」など投書があった。「ルール

は必要。ルールの変更については職員と相談を」「ルールのことでは退職させない」と児童全体会で伝えた。このほか、内容から特定できるものは、職員が関係児童に面談、その都度対応に当たっている。

(9) 学園見学

自治体、学校など次のような学園見学があった。▽6月、岩倉市民生児童委員25人、浜松市同30人▽7月、大府市同20人、愛知総合看護福祉専門学校30人▽9月、キンダーホルト6人▽10月、尼崎市同30人▽2月、日進市同44人

(10) 職員表彰

▽理事長特別表彰 副学園長わかば館長近藤日出夫 昭和36年、中日青葉学園に入所、卒園とともに学園職員に採用以来、指導課長、指導療育部長・副学園長兼わかば館長を務め、永年にわたり自身の経験をいかした児童に寄り添う支援をし、平成29年3月退職に当たり表彰▽あおば館もみじホーム(野村花枝・福井由佳里・佐野美咲児童指導員、梅北洋平・印藤義子保育士) 特別な対応が必要な複数の子どもたちに寄り添うケアに当る▽同館林美歩・篠原江里児童指導員 他施設研修から勤務体制見直しを提案、働きやすい職場作りに貢献▽同館宮地拓朗保育士、長友薫子児童指導員 施設長会ソフトボール大会であおば館チームを優勝に導く▽同館角谷ひとみ保育士、篠田知沙児童指導員 欠員補充のないさくらホームで丁寧なケアに力を合わせる▽わかば館あさぎホーム(村野知世・天野るな保育士、宮田典幸・加藤千聖・原奈緒子・辻本千絵美児童指導員) 極めて対応が難しい児童をチームワークよく支援する▽同館辻本千絵美児童指導員 第38回音楽の集いバンド演奏でよくチームをまとめる。

▽勤続表彰 伊藤清美調理員(10年)篠原江里、林美歩あおば館指導員(5年)

(11) 施設整備

昭和35年に学園開設時、桜、スギ、ヒノキなどを植栽した県道沿い南斜面は、50年以上、手入れが行き届かず荒れていた。枯れかけた桜の大きな枝が強風で折れ、通路に落下することがあり、大規模修繕に合わせ、約10本を残して伐採、三菱東京UFJ財団から寄贈された桜、もみじ、あじさいなど220本を植樹した。厨房大型換気装置、貯水槽ポンプ、あおば館児童居室畳を交換、館内蛍光灯LED切り替え継続、各ホームにオゾン生成器備え付け、一人になり心を落ち着かせるための「シェルター」を購入した。

(12) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、メニュー作りに生かしている。「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り、わかば館では、女子ホームでおやつ作りをしている。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たっ

た。食物アレルギーのあおば館幼児1人についてアレルギー食を用意、ホームでは、アレルギー専門医に通院しながら食の改善を進めている。

(13) 大学等進学支援

社会事業団の大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館3人、あおば館退園生3人、わかば館同1人の計7人に支援金を給付した。

(14) 外部との関わり

園長が日進市社会福祉協議会理事、尾張東部圏域保健医療福祉推進会議・尾張部虐待防止連絡会議・日進市保育運営協議会・日進市民生委員選定会各委員、愛知警察署協議会委員を。わかば館長、指導療育部長兼あおば館指導課長、あおば館指導係長が大学、専門学校で福祉関係者を養成する講座での非常勤講師を。あおば館指導課長、あおば館心理士があおば館での大学、大学院の心理士研修講師を務めた。あおば館わかば館両指導係長が日進市要保護児童対策協議会ネットワーク会議、わかば館指導課長が日進市障害者自立支援協議会子ども部会に参加、地域との連携を深めている。

11月、福祉フェスティバルにっしんに出展、パネルで学園紹介をした。

(15) その他

あおば館わかば館とも今年度は自己評価を行い、ケアの見直し、向上に努めている。2月、あいち小児保健医療総合センター主宰の「性の問題について考える会」を開き、施設での具体例を参考に施設、病院、児関係者が対応を話し合った。今年度から青葉学園が事務局を引き受ける。くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出したり、くらちゃんハウスへ職員を派遣するなどファミリーホーム支援連携をした。

児童相談センター児童福祉司の施設研修を受け入れた。

児童養護施設あおば館事業報告

あおば館は、4月、中舎(15~17人)3ホームと小規模ユニット(8人)2ホームでスタート。中舎は2階男子「けやき」3階男子「ひのき」女子「もみじ」。小規模は2階「しらかば」(女子小学生以上)「さくら」(男女幼児)。家庭的養護推進計画第2弾として10月、「ひのき」を小規模ユニットに改造した。小学生以上男子8人のホームとなり、個室8、スタッフルームのほか浴室を小さくし、専用の玄関を設けた。残るスペースは、シャワー室を新設、豊部屋を洋室に変え、一時保護児童、子育てショート事業のために使っている。

寺井陽一指導療育部長兼指導課長のもと、阿尾匡晃・鶴飼直樹指導係長をはじめ職員25人、パート職員6人が児童のケアに当たった。

(1) 入所実績

あおば館定員は4月1日・70人、10月1日・62人(ひのきホーム小規模化による)。この1年間に新たに9人(男子4人、女子5人)が入所、13人(男子6人、女子7人)が退所した。

28年4月、小学校へ3人(女子3人)、中学校へ4人(男子3人、女子1人)、高校へ4人(男子2人、女子2人)それぞれ入学した。29年3月、小学校を4人(男子3人、女子1人)、中学校を5人(男子3人、女2人)、高校を4人(男子3人、女子1人)が卒業。中学校を卒業した4人は高校へ進学、高校を卒業した1人は大学、2人は専門学校に進学、1人は就職した。

28年度延べ入所者は19,623人。一時保護は32人、延べ469日。日進市の子育てショートステイ事業の2人、延べ18日を受け入れた。

(2) 生(性)教育(安全安心)委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、安全委員会として取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学低学年・同高学年各ワークショップを行った。男女別に小グループで性教育を、性的問題を起こした関係児童6人に対しては、加害者には指導・再教育、被害者には心のケアを行った。

(3) 食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場(子ども、職員)間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。また、各ホームで子ども、現場職員が夕食(ハンバーグ、オムライスなど)作りをした。女子小規模「しらかば」では料理研究家・長田絢さんが手作

り料理教室を開催、恵方巻き、ハロウィンメニューなど材料買い出しから一緒に食事作りをし、温かな雰囲気にも包まれた。

(4) 心理対応

常勤1人、非常勤1人の心理士2人体制。カウンセリングやプレイセラピー、SST(怒りのコントロール)などの個別心理療法を12人に実施。小学生高学年に対して、集団心理療法「心の教室」を15回実施した。また、学園近くの椋山女学園大学心理臨床相談室の協力で2人が同大学へ赴き、心理療法を受けた。

(5) 個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童24人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので11人が家庭復帰した。保護者がいても都合で帰省できない児童について、わかば館家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

(6) 退所者支援

退所後、就職したが、対人関係などから退職した人について生活場所の確保、再就職の斡旋をはじめ、退所後、応援が必要な男女6人の支援を継続している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

(7) 職員研修

職員の援助技術の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、全国児童養護問題研究会、子どもの虹情報研修センター主催の各種研修、子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会などの研修に参加した。小規模ホーム長2人が大阪府の児童養護施設「あおぞら」での研修報告をした。

(8) 実習生

実習生受け入れは保育実習63人、社会福祉援助技術実習13人、心理実習18人、介護等体験12人。

(9) 学習

高校進学を目指す中学生6人が近くの塾へ通い、3人が学園内で家庭教師の形で学習指導を受けた。小学生20人が週2回、ボランティア2人の協力で公文式学習をした。

(10) スポーツ活動

8月の児童福祉施設入所児童夏季球技大会(県児童福祉施設長会主催)では、ソフトボールで優勝。卓球は中高生女子の部で準優勝。12月の施設長会フットサル大会で中高生の部連続優勝。2月の親善マラソン大会には35人参加、2人

が6位入賞した。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習の受け入れ」「教員養成介護体験」「福祉人材育成」「福祉避難所」「被虐待児の受け入れ」「一時保護」「里親支援」「退所児童支援」の8項目で8ポイントを得た。

(12) 子ども会

地域との交流活動として、小学生（希望者女子4人）が市場町側子ども会に加入、ドッジボール・キックベースボール大会、運動会、映画鑑賞、ボウリング、歓送迎会に参加した。

(13) 家庭的養護推進計画見直し

前期計画（27年から31年）では、児童定員を28年4月70人、10月62人、29年4月51人だったが、1年で19人減らすと、職員定数に影響するため、29年60人、30年55人、31年51人と段階的に減らすように変更、県児童家庭課に了承を得、3月の理事会で承認された。

児童心理治療施設わかば館事業報告

青葉学園は一つの理念のもと「われらが学園、子どもとともにあり、子どもに寄り添い、子どものニーズにこたえる」をスローガンに、あおば館との連携を図り子どもの支援を行った。

わかば館は、「もえぎ」(男子)「あさぎ」(女子)の2ホームで子どもの生活を支える。高嵯孝一指導課長、伊藤洋一指導係長以下、指導員、保育士14人、臨床心理士5人、看護師1人、パート職員3人が支援している。

「生活の質の向上を図るなかで未来に希望の持てる日常を取り戻す」を目標に掲げ臨んだ。無断外出、自傷行為、児童・職員への暴力など厳しい対応に追われながら、職員のチームワークで子どもを支えることができた。

(1) 入退所実績

わかば館定員は35人(暫定定員34人)。この1年間に新たに18人(男子10人、女子8人)が入所、12人(男子8人、女子4人)が退所した。28年4月、中学校へ5人(男子5人)が入学した。29年3月、小学校を4人(男子1人、女子3人)、中学校を3人(男子1人、女子2人)が卒業した。中学校を卒業した2人は高校へ進学、男子1人は家庭復帰し、女子1人はわかば館から通学する。残りの女子1人は就労支援を活用しながら自立の道を目指す。

28年度延べ入所者は10,288人。一時保護は9人(男子5人、女子4人)延べ1,259日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けた児童が増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職5人が、わかば館1階の治療棟で1回45分の個別の関わりを行った。子どもと心理士の関係性を基盤に日常生活の生きづらさに折り合いがつけられるよう心理士の知見を基にアプローチした。また、指導員、保育士と子どもの見立てについて協働し、生活全体が治療的環境になるように整えた。

また、非常勤の精神科医2人には児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わり持って頂いた。児童の状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(3) 家庭支援

児童一人一人のケアプランに従って生活指導、心理治療に当たっているが、成育歴など状況を調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、2人が社会自立し10人が家庭復帰を果たした。

(4) 児童支援

医療機関との連携も密に行い、毎月1～2回半数以上の子どもが通院（あいち小児保健医療総合センター、北津島病院、上林記念病院、月下香庵）して治療効果を向上させた。同センターでの年1回の定期カンファレンス（援助検討会）と各病院との個別カンファレンス・ネットワーク会議に職員3～5人が参加、日々の療育や心理社会的治療に役立てた。

日々の取り組みでは、男子女子児童ともに、わかばの暮らしをよくするために「もえぎ会議・あさぎ会議（ガールズミーティング）」を毎日、全員で実施し、一日の振り返りと自分たちの生活の向上を目的に、日課について話し合いや入浴時間などの見直しを行った。また、暴力についての解決方法を話し合った。

中学を卒業し、戻る場が無く高校へ進学した児童については、わかば館から進学できるように支援を行った。また、高校の登校が難しくなった児童については、通信制への転学を認め自立支援を実施した。

(5) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師20人が、全国情緒障害児短期治療施設協議会が主催する研修会をはじめ、専門性の高い各分野の研修に参加した。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設5施設との共同研修として心理部会を年2回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、中部ブロック職員研修運営委員会は伊藤指導員が研修運営委員として活動した。

あいち小児保健医療総合センター新井ドクターの依頼を受け「性問題について考える会」の事務局として、児童施設の性の見守りの向上を目的に運営を行う。

(6) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習30人、社会福祉士実習11人、教員免許特例介護体験12人の実習を行った。

(7) 学習

担当職員を中心に、高校受験生の男子1人、女子1人に受験環境を整えると共に個別対応を実施し、希望校合格につながった。

中学生の週4回の学習時間には、学習が苦手の子どもに対し学習習慣の習得を目的に中日春秋の書き写しを実施した。

(8) 生活訓練

家庭復帰や就職しての寮生活に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯

など日常生活を体験やバス、地下鉄の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入して自分たちで料理やお菓子を作った。

「セカンドステップ」暴力や暴言を減らし、安心安全な自己表現の促進を目的に、小学生高学年を対象に年12回実施した。

(9) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボール2部に1チーム参加し初戦突破の健闘を見せた。卓球は団体戦と個人戦に参加し、ベストを尽くしてよく頑張った。

親善マラソンには小中学生が参加し、全員が完走を果たした。

(10) 和太鼓同好会

わかば館児童とあおば館児童の合同で、青葉祭りなど各種のイベントの機会を通して太鼓演奏を披露している。言語で表現が苦手な児童には太鼓を叩く、リズムに合わせて音楽を奏でることで、相互の協調性や連帯感を育むことに寄与し生活にはりと意欲を生み出している。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「社会福祉実習受け入れ」「一時保護委託の実施」「退所支援事業」「保護者支援事業」の7項目で7.5ポイントを上げた。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数 (平成29年3月1日現在)

あおば館 (児童養護施設)	人員	担当職務
館長(学園長)	1	運営管理
指導療育部長(課長兼務)	1	統括(わかば館兼務)
事務係長	1	わかば館兼務
指導係長	2	生活指導(統括)
主任指導員	2	生活指導
指導員・保育士	15	生活指導
主任心理士	1	心理治療(生活指導)
栄養士	1	栄養管理
給食係	2	給食実務
嘱託医	1	健康診断
非常勤	3	生活指導補助、心理治療、幼児教育
小計	30	
わかば館 (児童心理治療施設)	人員	担当職務
館長	1	運営管理
医師(非常勤)	3	医療業務
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導(統括)
主任指導員・保育士	1	生活指導
指導員・保育士	11	生活指導
看護師	1	健康管理
主任心理士	1	心理統括(生活指導)
心理士	4	心理治療(生活指導)
事務	1	経理事務
給食係	4	給食実務
非常勤	2	生活指導補助
小計	31	
合計	61	

▽児童数 (平成29年3月1日)

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	4	5	9	6	0	24
	女子	2	13	4	5	0	24
わかば館	男子	0	8	7	1	0	16
	女子	0	3	6	2	1	12
計		6	29	26	14	1	76

中日青葉学園主な行事

開催日	事業名
4月 6日	北小学校入学式(3人)、高校入学式(7人)
7日	日進中学校入学式(9人)
28日	青葉分校スポーツフェスティバル
29日	「つつじの会」10年前分校改築記念で埋めたタイムカプセル開封
5月3～7日	GW外出・名古屋市内、トランポリンなど
24日	施設長会総会・児相センター長合同会議
28日	北小学校運動会
31日	社会事業団理事会で27年度決算・事業報告承認
6月1～3日	中部児童養護施設協議会福井大会参加
11日	青葉スポーツ大会、ボランティア活動
13日	職員研修水上隣保館・ひびき、つばさ園・ももの木学園複合施設見学(2班は21日)
29日	「さくら」で、誕生学講座開催
7月 3日	大相撲田子の浦部屋けいこ見学
22、23日	目的別活動A岐阜県郡上市川キャンプ
25、26日	目的別活動B福井県若狭湾海キャンプ
28、29日	目的別活動C岐阜県郡上市幼児キャンプ 東三河わかばキャンプ
8月1、4日	高校生交流会Ⅰ部
3、4日	目的別活動D長野県やぶはら高原体験キャンプ
17、18日	高校生交流会Ⅱ部参加
22日	施設長会ソフトボール大会参加(あおば館Ⅰ部優勝)
24日	施設長会卓球大会参加(あおば館A団体準優勝)
29、30日	ボウリング招待
30日	竹の子会ボランティア活動功労者県知事表彰式
9月 3日	わかば祭り
21日	日進中学校体育大会
25日	料理研究家「しらかば」料理教室開催(10/16)
10月 8日	韓国青年商工会焼肉訪問、元中日選手の野球教室
15日	中部善意銀行 USJ招待
19日	日進中学校文化祭
22日	スターターズセミナー
29日	第20回青葉まつり
11月 10日	北小学校学習発表会

- 13日 福祉フェスティバルにっしんに出展
20日 音楽の集い(尾張旭文化会館)に参加
24日 合同研修(スタッフトレーニング)
- 12月 2日 NFDクリスマスリース教室
3日 西小学校マス釣り招待
7日 オーシャンズフットサル教室
13日 トーテム招待
14日 植樹式
18日 中日森友隊園内整備
19日 バンビーニクリスマスコンサート
22日 クリスマス会
23日 スケート招待、飛行船ピーターパン招待
26日 施設長会フットサル大会あおば館中高生の部優勝
30日 もちつき大会
- 1月 1日 猿投神社初詣
14、15日 伊那スキー村に参加
26日 合同研修「児相の保護者対応」田中清美愛知教育大特任教授
- 2月 3日 寿し正さんの恵方巻き
12日 施設長会親善マラソン大会に参加
17日 倉本聡劇「走る」鑑賞。年度末ひのき旅行ナガシマスパーランド
23日 性を考える会、学園で開催。
25日 年度末旅行わかば館旅行ナガシマスパーランド
26日 旅立ちセミナー参加、年度末もみじ旅行スケートなど
- 3月 1日 高校卒業式
3日 日進中学校卒業式、年度末しらかば旅行大阪へ
16日 北小学校卒業式
17日 UFJ自立支援セミナー
18日 テーブルマナー教室、ベタニヤ幼稚園卒園式
19日 年度末けやき旅行ナガシマスパーランドへ、NFDフラワーアレンジ教室
20日 巣立ちの会、卒園パーティー、離任式
24日 近藤日出夫わかば館長講演会
27日 お楽しみデー(いちご動物園、ラーメン訪問、パイプロイド教室)
30日 社会事業団理事会(29年度予算、事業計画承認)レゴランド招待

主な行事の写真



タイムカプセル開封(4月29日)



ゴールデンウィーク外出(5月7日)



北小学校運動会(5月28日)



青葉スポーツフェスティバル(6月11日)



幼児さんが誕生会を学ぶ(6月29日)



田子の浦部屋訪問(7月3日)



目的別活動・川キャンプ(7月22日)



目的別活動・海キャンプ(7月25日)



施設長会ソフトボール大会あおば館優勝(8月22日)



施設長会卓球大会(8月24日)



元中日選手の野球教室(10月8日)



中部善意銀行USJ招待(10月15日)



青葉まつり(10月29日)



オーシャンズフットサル教室(12月7日)



植樹式(12月14日)



クリスマス会(12月22日)



施設長会フットサル大会あおば館優勝(12月26日)



施設長会親善マラソン大会(12月26日)



巣立ちの会(3月20日)



レゴランド招待(3月30日)

高額寄付(一般)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
愛知日産自動車(株)	名古屋市	豊川閣妙巖寺(豊川稲荷)	豊川市
全ヤマナカ労働組合	名古屋市	名古屋東ロータリークラブ	名古屋市
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市
ネットヨタ東海(株)	名古屋市	稲沢市職員互助会	稲沢市
中央電気工事(株)	名古屋市	トヨタ紡績「飛躍の会・工の会・職長会」	刈谷市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	(株)八幡ねじ	名古屋市
名古屋ハリストス正教会	名古屋市	鈴木煉瓦(株)	安城市
ヤマトホールディングス(株)	東京都	河本三紀夫	一宮市
愛知製鋼ボランティア基金	東海市	新東工業(株)	名古屋市
愛知県ボウリング場協会	稲沢市	五月会	名古屋市
ミッドランド税理士法人アライアンス	豊田市	昼川三津男	刈谷市
あいち知多農業協同組合	常滑市	協栄会・協友会	東海市
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	黒野清宇	名古屋市
ジュニアチャリティカップ実行委員会	名古屋市	藤田保健衛生大学病院	豊明市
名古屋福祉支援チャリティゴルフ	名古屋市	尾西作家協会	一宮市
荒川光夫	名古屋市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛鳥村
山本江利子	岡崎市	(株)木村屋 シオン倶楽部	江南市
(株)善都	豊田市	愛知県経済農業協同組合連合会	名古屋市
税理士法人のぞみ	名古屋市	日本特殊陶業(株)	名古屋市
国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市	(一社)愛知県LPガス協会	名古屋市
ナゴヤアドベンチャーマラソン 実行委員会	名古屋市	あいおいニッセイ同和損害保険(株) ゆにぞんスマイルクラブ	東京都
鞍馬山別院弘恵寺	豊田市	ネットヨタ中部(株)	名古屋市
東郷産業(株)	名古屋市	AIRG(あいある)	東浦町
名古屋駐車場案内システム協会	名古屋市	名古屋競馬(株)	名古屋市
松本三良記念福祉会	東海市	栄学区連絡協議会	名古屋市
(株)真城ホールディングス	名古屋市	名古屋トヨペット(株)	名古屋市
おおやま歯科医院	名古屋市	加藤等	名古屋市
トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市	加藤好章	刈谷市
(公社)中部日本書道会	名古屋市	棟安一男(故)	名古屋市
碧南信用金庫 碧友会	安城市	伊藤節子(故)	春日井市

*匿名は省かせていただきました

高額寄付(一般)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
石川交通(株)	金沢市	こばと保育園・第2こども園	小松市

東海支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
現代書作家クラブ	浜松市	第35回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市
ホンダ倶楽部Golf同好会	浜松市	浜松倉庫株式会社	浜松市
竜ヶ岩洞	浜松市	静岡第三同志会	袋井市

東京支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市		

岐阜支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
県立岐阜総合学園高校太鼓部	岐阜市	全日本ロータス同友会岐阜県支部	岐阜市
NTT岐阜グループボランティアサークル	岐阜市	高山市図書館指定管理者(株)	高山市
(公社)中部日本書道会岐阜支部	岐阜市	森ビル都市企画(株)	岐阜市
D-TRUEダンススクール	可児市	大前三四郎	下呂市

*匿名は省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
成田山「索の会」	犬山市	難病者激励金
名古屋競輪組合	名古屋市	東日本復興支援金
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	東日本復興支援金
中央電気工事(株)	名古屋市	東日本復興支援金
水谷興業(株)	東海市	東日本復興支援金
日本音楽振興会	名古屋市	東日本復興支援金
協栄興業(株)	東海市	東日本復興支援金
(株)アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会(震災遺児支援)
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳外傷友の会みずほ
無量寺	蒲郡市	がん撲滅
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
徳弘妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
福島厚子	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株) 親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
(株)名西運輸	名古屋市	中日青葉学園
福島厚子	名古屋市	中日青葉学園
青山工機(株)	名古屋市	中日青葉学園
岩瀬清	幸田町	中日青葉学園

* 東日本大震災義援金、熊本地震義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)敬称略、順不同

東海支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
ネットヨタ浜松(株)懇話会	浜松市	交通遺児義援金
ニットサークルローズガーデン	浜松市	広安愛児園(熊本県児童養護施設)

岐阜支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
岐阜県中日新聞販売店会	岐阜市	花いっぱい運動へ
岐阜県遊技業協同組合	岐阜市	花いっぱい運動へ
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	花いっぱい運動へ

* 東日本大震災義援金、熊本地震義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

社会福祉法人 **中日新聞社会事業団**

	所在地
本部事務局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北陸支部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東海支部	〒435-8555 静岡県浜松市東区葉新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東京支部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐阜支部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護・児童心理治療施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315